

特別寄稿

オリンピックの前に知っておこう

日本の素晴らしさ

①

(株)人間と科学の研究所 所長

飛岡 健

〈はじめに〉 日本人ひとりひとりが日本の自然、歴史、文化の語り部に！

2020年12月に世界に先駆けて、小惑星「りゅうぐう」の内部の物質を採集して「はやぶさ」が30億kmの宇宙の旅を終え、地球に戻り、そのサンプルの入ったカプセルを見事にオーストラリアの砂漠に着陸させ、無時回収出来ました。まさに日本の世界一の技術であり、世界中の人々の耳目を集めました。アメリカのNASAもこの「は

やぶさ」に学んで小惑星探査を行ったのです。

そして日本のスーパーコンピュータ「富岳」が2年連続で世界一になった事と併せて世界に日本を知らしめてくれました。

そして来年2021年に、少し先行きは暗いようですが、日本において2度目の東京オリンピックが開催される

予定です。多くの外国の方々が来日された時、折に触れて、日本について皆さんに教えて下さいと言われる事が予想されます。皆さんは、外国の方々が来日され、日本の事について訪ねられた時、どの位日本について語れますか？

きつと堂々と、日本について話される方も沢山いると思います。しかし、もし余り知らない、話せないという方は本稿を参考書としてお使いください。

オリンピックには、アジアの人々

も、欧米の人々も、その他の国々の人々も、たくさん来日することでしょう。

「はやぶさ」や「富岳」のような技術と共に、外国の方々が知りたい「日本の素晴らしさ」が日本には溢れています。本当に日本を世界に知らしめる絶好のチャンスです。このチャンスをものにし、日本を今まで以上に、魅力のある国として世界の人々から愛される国にしましょう。

もち論、オリンピックが無くて、今日本へは海外の方々が年間3000万人以上来ていました。そし

て、ここ2〜3年は別として更に10年以内位で大きな政治的事件が無ければ、4000〜5000万人へと増えていくことでしょう。

そうした人々に、日本の良さをより良く知ってもらう事が当面の日本人ひとりひとりの課題です。そこでは日本人ひとりひとりが、語り部 になる事が望まれます。

そこで誰もが日本を判り易く話せるための課題提供のタネ本となる本を書いてみようと思い、この文を書きました。今日の日本は、政治的、経済的に沢山の問題がありますが、それ以上に日本の自然、歴史、文化には世界に誇れる超一流のものが沢山あります。本文のみでなく「雑学辞典」という囲み記事の中にも、日本の素晴らしさを沢山紹介してあります。それを世界の人々に語って下さい。その為の一助として、この文がなれば幸いです。コロナウイルスによるパンデミックの影響で、この文章が書籍として出版される頃には、その実行の可否が決定されているでしょう。しかしこの文はオリンピックがある事を前提として書いていますが、しかし内容はその有無に関係なく日本人ひとりひとりにとって関心

のある内容だと思えます。

日本発の文明、文化を世界に広げ、

日本の活力を今一度取り戻して、日本の多いなる発展に尽力しましょう。

Ⅰ 世界の人々は、日本をどう見て、どう評価して、来日してくれているのでしょうか？

最初に、海外の方々が日本の自然、日本人の生活、日本の文化、日本の技術等についてどのように見て、どう捉えて来日してくれているのかをこの章で見えていきましょう。その前にちょっとだけ日本の一昔前の評判に触れておきます。

実のところ、今から50年前までは、海外の人々は一部の人を除いては、日本に関して余り関心がありませんでした。ところが1960年頃は世界の人々の関心はなくなり、日本社会は戦後の復興を終え、高度成長期に入り、日本の物造りが活発になり、多くの工業が、奇跡の復興と語られる如く発達を始め、世界に輸出を大きく伸ばし、その存在感を著しく増し始めていた頃でした。だからもう少し世界の人々は日本に関心を示してくれても良いのではないかと思います。でも殆んど関心は示してくれていませんで

した。やはり実際の動きと認識との間にはいつもズレがあります。認識の方が遅れる事が多いのです。例えば、その頃に私がドイツを訪れた時、ビールで有名なミュンヘンのハウプトバーン

ホーフと呼ばれる中央駅の前に立つて、その駅近くの大きなビルの屋上に取り付けられている日本の企業の看板があったので、「ソニー」や「パナソニック」と書かれていましたが、それらを指して、「ドイツ人にはあれは「どこの国の企業ですか？」と聞くと、「アメリカだよ」という答えが返ってきました。その位しか日本の存在は知られていなかったのです。

そしてヨーロッパ各国に散らばっている日本の大使達が、その頃ある所に集まって、「ヨーロッパでの日本の印象度について」という会議を持ちました。その時話題に上ったのは、日本人がヨーロッパの街を歩いていると、そ

の街の人々から「お前は中国人か?」、次いで「韓国人か?」、更に「シンガポール人か?」と聞かれますが、「日本人か?」とは最後まで言われないうだよとの話でした。それ程その頃のヨーロッパの人々は、日本と日本人には関心が薄かったのです。

しかし、今日では全く状況が変わってきました。今や海外の人々が年間3000万人も来日されますし、世界の新聞やTVが、日本特集を組む事も少なくありませんし、SNSにおいても世界中で日本が話題になる事が少なくありません。まさに隔世の感があります。そして海外の公の学校で、日本語を学んでいる学生が1000万人以上居ますし、沢山の留学生や研修生が来日しています。そして日本に住んで生活をしている人も200数10万人以上いますし、各地に外国人村や、外国人街が出来ているのです。加えて多くの世界的に重要な会議が日本で、開催されています。

そのように世界の方々の日本についての関心が最近著しく変わってきているのです。それにつれて日本の評価も驚くほど高くなってきています。その声をまずお届けしましょう。

「1」日本に対しての世界一の評価が続々!

まず日本全体に対しての評価に関心して見ましょう。最初はアメリカのタイム誌が主要20カ国に対して行った国家のイメージ調査で

《雑学事典 1》
日本は世界一の債務大国
1991年に、47兆円(1\$140~160円)で世界一位になってから27年連続一位に。(2018年5月発表)

すが、何と2007年から4年間連続で1位でした。そして2018年のヘンリー&パスポート社の発表で、ビザなしで入国可

能なパスポートは何と日本のパスポートが世界一でした。これは何を物語っているのでしょうか?それは日本と日本人に対して、世界の国々からの信用が世界一厚いという事の証明と言っても良いのではないのでしょうか。

次いで英国のBBC放送局の「世界に良い影響を与えている国」に関する世論調査です。何とここでも日本は、2012年に1位になったのです。

何が世界に対して良い影響を与えているのでしょうか?それをもっと

深く知って、その部分を更に強めていきたいです。

そしてシンガポール政府公認の非営利組織(NPO)「シンガポール親切運動」での聴き取り調査でも、何と日本の支持率は、2019年には69%と圧倒的に支持を受け、世界一の親切な国になっているのです。

嬉しい事に、そのように日本という国は今や世界各国から認知され始めてきています。しかし、これをもっと広めるには、やはり日本が本当に何をもって世界に貢献していくかを日本人自身がしっかりと考えて、それを判り易く旗印にして世界に人々に判るようにして

いかねばなりませんね。世界中の人が「日本という国は、とても世界にとって大切な国なんだ!」と思ってもらえるように。

順位	国	点数
1	日本	77
2	ドイツ	72
3	シンガポール	71
4	アメリカ	64
5	中国	62

※米「タイム」誌 56ヶ国に住む12万人に、主要20ヶ国の国際的イメージのランクづけ。100満点

順位	国	国数
1	日本	190
2	シンガポール	189
3	ドイツ	188
3	フランス	188
3	韓国	188
4	デンマーク	187
4	フィンランド	187
4	イタリア	187
4	スウェーデン	187
4	スペイン	187

2018年ヘンリー&パスポート社の発表
ビザなしでの入国可能な国数

※アメリカは、186ヶ国
※日本がビザが必要な国:クウェート、オマーン、パレオン、レバノン、エジプト、ソマリア

順位	2012年	2013年	2014年
1	日本	ドイツ	ドイツ
2	ドイツ	カナダ	カナダ
3	カナダ	イギリス	イギリス
4	イギリス	日本	フランス
5	中国	フランス	日本
6	フランス	EU	EU
7	EU	ブラジル	ブラジル
8	アメリカ	アメリカ	アメリカ
9	ブラジル	中国	中国
10	インド	韓国	南アフリカ

※「BBC放送」が世界の新聞社と協力して、毎年各国のイメージ調査をしている。世界22ヶ国約2万数千人
※日本のランクがダウンの原因は、中国、朝鮮から悪い評価を受けている

順位	国	割合
1	日本	69
2	タイ	36
3	シンガポール	32
4	オーストラリア	25
5	アメリカ	19

※シンガポールの国民、永住権取得者約1000人に聞き取り調査
3ヶ国を選んでもらう

「1-2」東京の評価は何と驚いたことに世界一

さて日本という国の評判の次は、日本の首都東京の評判です。

最初は、世界の人々の旅行先への関心ですが何といってもまず第1にその国の首都が集まります。それはやはり総合的な魅力が首都に集まっているからと言えるでしょう。「花の都パリ」、「霧の街ロンドン」、「眠らぬ街ニューヨーク」といったように、その国の首都に関心を向けることが多いと思います。そこで、我が日本の首都東京に関して少し調べて見ましょう。今日は、インターネットやSNSの時代です。

そしてインスタグラムの時代です。それをういて調べて見ましょう。インターネットで検索すると、何とも驚くべき事が判りました。皆さんも自分でインターネットで調べて下さい。

トリップアドバイザーという組織が、世界の40都市を旅行した7万5000人による世界の都市調査を行った結果、全項目の平均で世界のトップは何と東京でした。200以上ある国々の都市の中で何とトップなのです。第2位はシンガポールで、第3

位はミュンヘン（ドイツ）でした。その調査項目は次の項目です。

何とも嬉しいし、誇らしいではないですか？7のコスパ（コストvsバフォーマンス）は円高であり、少し厳しい評価ですね。でも東京は世界一の魅力のある都市となったのです。実はミシユランというフランスのタイヤの会社がレストランや料理店等を調査して、評判の良い店に捧げられる星を頂いた店の数は東京が世界一なのです。そして、世界中の国々の料理を食べら

れる店が100ヶ国以上もあるのです。これもまた凄い事です。何とも東京は、食に関しては国際色豊かで、魅力的なのです。しかも、どの料理を食べても、当たりハズレが少なく、美味しいとの評判です。

その東京の世界的凄さは、オリンピックの開催でも判ります。オリンピックの開催地の選択の条件は、その国が経済的に一定のレベルに達し、政治的にも安定した安全な国になっている事が大きいのです。経済的には、その国が経済的に充実した事を証明する為に、オリンピックの前にIMFの総会が開かれます。

① 地元の人達は、親切だったか？	2位
② タクシーの運転手は親切だったか？	1位
③ タクシーのサービスの総合的評価は？	1位
④ 街中は清潔だったか？	1位
⑤ 街の中での移動のし易さ	7位
⑥ 公共交通機関の評価は？	1位
⑦ 支払った金額に対する満足度	26位
⑧ ショッピングの満足度	5位
⑨ 行く前に期待したいようだったか？	10位
⑩ 安全と感じたか？	1位

旅行者による世界の都市調査より

1964年（昭和39年）の東京オリンピックに次いで、2回目のオリンピックが2020年に再び開催されます。冬季オリンピックも入れると日本での開催は4回です。世界の大都市の中でも2回も行っているのは、ロンドン、パリ。ロサンゼルスは3つしかありません。そして東京です。

そして東京は意外と大きな公園や庭園が多いし、緑に溢れる街でもありません。東京の一部だけを見ても表の通りです。

おそらく東京は世界と比べてもひけをとらない緑化がなされています。あの意味で緑化度は文明の発達度合いを物語る指標とも言えます。因みに世界一の緑化率の高い都市はどこでしょう？それは、スイスのベルン（首都）です。確かに凄いです。ベルンは科学の世界の金字塔の「相対性理論」の提唱者のA・アインシュタインがいた街です。

そして東京の驚くべき事の1つは、都内には毎日1つずつ通っても通いきれない数の美術館、博物館、民芸館があるのです。国立博物館、西洋美術館、江戸東京博物館、根津美術館等々、実に多くが、訪れる人々を楽しませてい

《雑学事典 2》

東京は、世界一の経済都市で、
1兆9575億\$、2位は、ニュー
ヨークで、1兆1219億\$

そして今日では、東京に網の目のように地下鉄、バス、道路、電車(丁R)が走って、交通網が整備されていますし、何より

も世界の人々が驚くのは、交通機関を始め、全てにおいて時間が正確な事と、道路にしても車内や駅や鉄道線路内にしても、あらゆる場所が汚れていない事に感動します。ただ街造りが計画的でなく、雑然としてスプロール化している事には少し驚くようです。特に欧米系の方々には!

また次の事も海外からの人々の注目を集めています。それは街を歩いていると、自動販売機が人気の無い所はまだ設置されている事です。実は、日本人にとっては当たり前の事でも、海外の人々はこの事にももの凄くびっくりされるのです。何故なら、海外だと直ぐに自動販売機が壊されて、お金と商品があつという間に盗まれることになってしまします。従って人気の無い所に自動販売機があるのを見て、「日本は何と安全な都市だろうか!」と感動されるのです。イスラム国の中では、人々

の監視の目が絶えずあるイスラムの教会モスクの中のみベンダーを置こうと計画している国もあります。街中でも、人気の無い所ではやはり盗まれるか、壊されるかの恐れが大きいからです。そして日本では至る所にコンビニがあり、買い物に便利です。そして駅前には商店街や飲み屋街がある所が多いので、とても便利であるし、楽しいと外国の方々は感心しています。

そのように日本の首都東京は、世界の人々から様々な面で世界一の評価を受けているのです。何とも誇らしくありませんか?しかしこれは、東京のみでなく、大阪、名古屋、京都、福岡、札幌等々の大都市でも同じ光景ですね!

更に、東京にはそれらに加えて、東京デイズニerland、サンリオピューロランド、後楽園、葛西臨海公園、更には東京競馬場、大井競馬

《雑学事典 3》

「リオ+20」会議でのUNEP(国連環境計画)での「包括的な富に関するレポート」
IWI(包括的資本)の総額は、米国が1位だが、1人当たり資本では、対象国20ヶ国中、日本が、435.466ドルで1位。

※ IWI 算出の為の変数 人的資本：人口、死亡率、雇用、労働力等／生産資本：投資、減価償却、生産量の伸び等／自然資本：化石燃料、鉱物、森林、農地、漁業等／健康資本：年齢別人口、年齢別死亡率、統計的生命価値等

- 新宿御苑
- 井の頭恩賜公園
- 皇居東御苑
- 駒沢オリンピック公園
- 代々木公園
- 旧芝離宮恩賜公園
- 北の丸公園
- 清澄公園
- 青山公園
- 浜離宮恩賜公園
- 小石川植物園
- 芝公園
- お台場海浜公園
- 上野恩賜公園
- 小石川後楽園
- 昭和記念公園
- 日比谷公園
- 有栖川記念公園
- 六義園
- 和田倉噴公園
- 明治神宮外苑
- 水元公園
- 旧岩崎邸公園
- 目白庭園
- 等々力溪谷公園
- 皇居外苑
- 旧安田邸公園
- etc.:

場、オートレース場や多くのスパ銭湯、そして多くのホールや演奏会場やスポーツ施設等々溢れんばかりの施設があるのです。まさにそのままで統合型リゾート(IR)となつていっているのです。知れば知るほど東京の魅力は発見されていきます。実に奥の深い街と言えるでしょう。

〈I-3〉
日本の様々な文化に触れる喜び
〜3つの同居〜

日本という国、そして首都東京の評判を見ましたが、次は日本の文化全体についての評判を見ていきたいと思います。

世界中100カ国を私は旅をしました。どの国にもち論、独自の文化が各々あり、訪れた海外の人々を楽しませてくれますが、日本ほど多種多様な文化が、日本ほど多様な文化が、一か所に揃っている国も珍しいと言えるでしょう。それは、3つの同居と表現出来ます。

- 1 海外と国内の文化の同居
- 2 今昔の文化の同居
- 3 ハイ・サブ・生活文化の同居

1 に関しては、西洋文化、アジア大陸の文化、そして中東の文化等々世界中の文化が、日本に入ってきて来て、溶け込み、日本の中で仲良く同居しているのです。逆に日本文化も世界に広がっています。最近「琴を習うにはパリ、ヴァイオリンを習うには日本へ」という興味深い、しかし何とも奇妙な感じの言葉が音楽家の人々の中で語られて

います

2ですが、日本という国は保守が伝統であり、多くの古いものが新しいものと同時に存在している国なのです。

縄文時代の土器も、弥生時代の水田も、古代の天皇陵の遺跡も残っているし、一方で今日の時代を表すサブカルチャーの面にも実に多様なものが生まれ、普及しています。

丸山眞男先生は『日本の思想』の中で、「日本人は、古いモノをお蔵に仕舞って、新しいモノをまず無抵抗に取込んで、良ければそのまま使い、悪ければお蔵から古いモノを出してきて再使用する民族」と語っています。

そして3に関しては、図1と図2と図3で示した如く、ハイカルチャー、

《雑学事典 4》
東京の人口は、東京圏で見ると世界一である。約3500万人。1800年頃の江戸の人口も100万～120万人で世界一であった。第2位はロンドンで90万人、第3位はパリで60万人

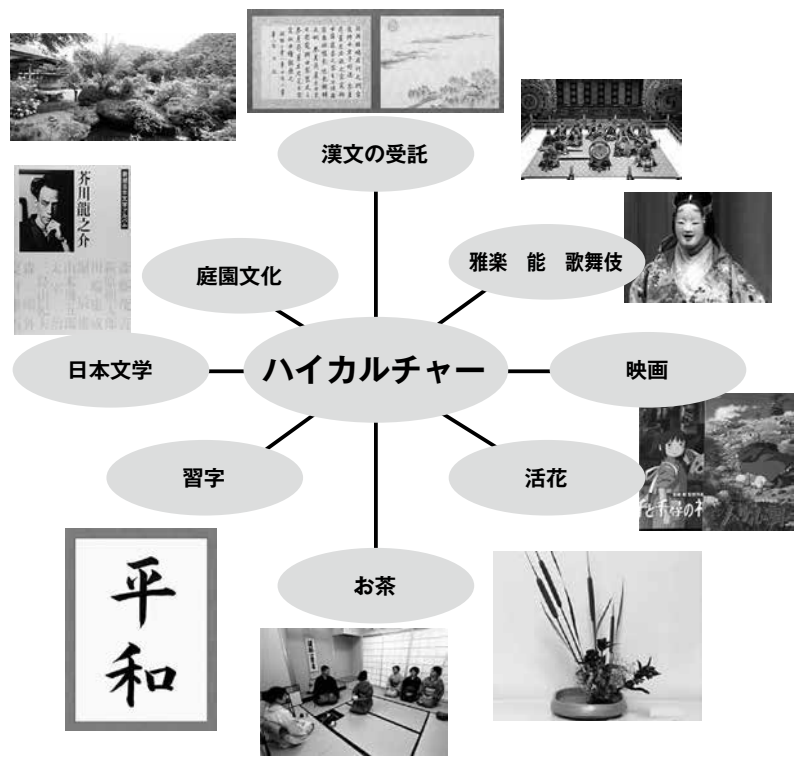


図1 ハイカルチャー

サブカルチャー、そして生活文化の各々の世界において、実に豪華絢爛に品揃えが出来ているのです。おそらく世界中で、これ程に世界中の文化、新旧文化、階層の異なる文化が同居している例は少ないでしょう。まさに「曼荼羅の図式」の如く、諸神混在であると同時に、その背後に高度の宇宙的調

和、統一感が控えているかの如くです。ハイカルチャーの代表は、天皇家の宮中行事の中で繰り広げられている絵巻きことがその代表例です。ひとつひとつの行事、その内容、どれをとっても日本文化の精髓が織り込まれているのです。優雅であると同時に、厳粛で厳かなものです。そこには日本特有の



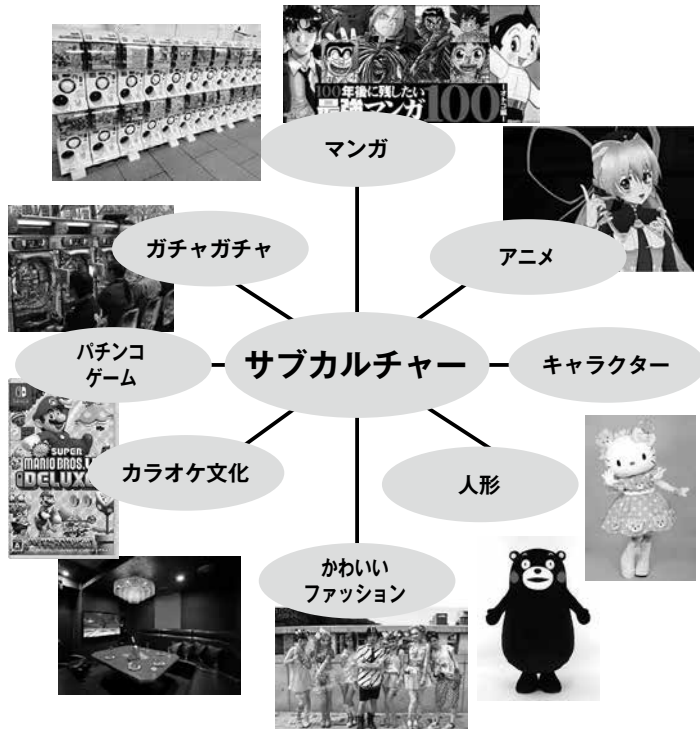


図2 サブカルチャー

シンボリズムが深く感じられます。サブカルチャーに関しては、他の所でも触れますが、今日日本発のサブカルチャーは、世界の若者に受け入れられ、世界に広く拡がって行っています。そして日本文化の特色の1つは何と云っても生活文化の充実です。かつて安土桃山時代から、江戸時代、そして明治時代に多くの方々が海外から来日し、日本を見て、何らかの形で祖国に

報告がなされたのですが、その中で外国からの方々が一番驚いたのが、日本人庶民の生活文化の水準に関してでした。何気なく置かれている家具や調度品、また日用品、櫛や髪飾りといった装身具、装飾品のレベルの高さに、そしてその他の生活用具や遊びの道具、あるいは教養を司る品々に関心をしたのです。欧米の国々では、貴族階級の方々の用いるレベルのものが、日本

の庶民の生活の中で見出せるのでした。

やはり2600年前から、天皇制とそれを取り巻く貴族社会とが近年まで引き継がれてきた事と、いつの世も世界から積極的に色々な文明、文化を取り入れ、それらを吸収する努力の積み

重ねが今日の日本の文化の曇茶羅模様を築き上げてきたのです。この節の最後に、イギリス人の言葉を紹介しておきます。「貴族に生まれるならイギリス人に、庶民に生まれるなら日本人に」という位に、庶民の文化が日本では発達していたのです。

〈I-4〉 日本のマンガ、ゲーム、アニメ、キャラクター、かわいいグッズ等の世界的普及

今更、このテーマについては、ここで改めて私が語らなくとも、皆さんは良くご承知の事と思います。しかし念の為に少しだけ触れさせていただきます。

今や「マンガ」「かわいいファッション」という日本語は、いつしか「柔道」や「空手」のように、世界に通用する言葉となりました。そのまま日本語の発音で話しても通じます。そして世界中で、漫画家が誕生し、アニメーターが活躍し、ゲームの製作者が「ポケモン」や「ドラクエ」を送りだし、それを超える作品を創り出そうと日々頑張っています。

日本で開催される漫画作品のコン

テストや、かわいいファッションショーには、世界中から若い子達が集まってきましたし、アニメ制作の総本山の吉祥寺のジブリスタジオのテーマパークにも多くの人が押し寄せます。

そしてサンリオのキャラクターのキティちゃんは、今や世界的なキャラクターとして、多くの女優さんや俳優さん達がキティちゃんを抱いた写真をSNSに上げています。その事によって、増々多くのファンを世界中に増やしてくれています。

そして中野ブロードウェイや秋葉原の街には、インバウンドの多くのお客さんが集まり、「古いゲーム」

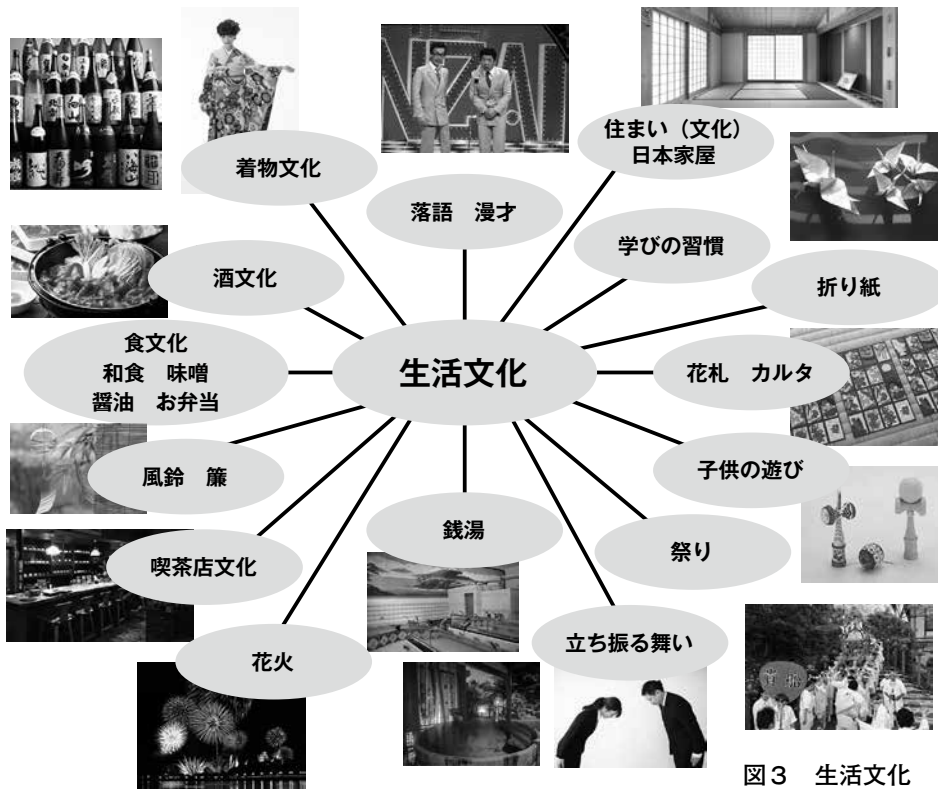


図3 生活文化

「アニメキャラクターグッズ」等々を買い求める人々で一杯です。今やこうしたサブカルチャーは、全体としてマイナーではなく、産業として

メジャーになって来ているのです。何故、こんなに日本のマンガ、アニメ、ゲーム、キャラクター等々が世界の人々に受けるのでしょうか？そ

れには色々な解説がなされていますが、マンガはテレビ映画で全世界に広まった「おしん」と同じく、「根性もの」や「スポコンもの」等の内容があり、必死に生きている様が、ストーリーが単純でありながら、奥深く味わい深く作られており、読む側が飽きずに感動したり、現実と置き換えて、考えさせられ事があると云われています。また構図、コマ割り、細かく、読んでいる人が映像で想像出来ることや、絵に関しては、日本人が得意とする繊細で、表現力高く、人間のひとつひとつの動き、仕草、体のライン、表情等々、絵を見ているだけで人物の気持が伝わって来て、読む人が感情を移入し易い事等、マンガは日本的ではある所が逆に世界に感動を与えているのではないのでしょうか？この辺りについては「マンガ文化論」、「アニメ文化論」、とか色々の本が出版されているので参考にして下さい。

ただ私が言える事は、こうしたサブカルチャーにも、日本人がその歴史において培ってきた一つの道へ至らんとせん動きがあり、アニメにしても『千と千尋の物語』にしても、

最近大ヒットの『鬼滅の刃』にしても、『環境問題への強い意識』が流れており、単なる興味本位のもではないのです。そして何よりも『細かな心遣い』や『人や自然への優しい眼差し』が底辺に控えており、深部を日本料理の『旨味』の如く、日本の特色として備えているのではないかと思います。

《雑学事典 5》

◎歴代ソフトゲームランキング1位

1位	ポケットモンスター (赤、緑、青、ピカチュウ)	1007万7166本
2位	スーパーマリオブラザーズ	681万本
3位	New マリオブラザーズ	634万本
4位	ポケットモンスター (金)	608万8144本
5位	ポケットモンスター (ダイヤモンド、パール)	853万本

「I-5」 日本食は、世界文化遺産に、そして多くの「ミシュラン」の星をもらった店が

文化の中でも、食文化はいちばん基本です。良く衣食住と言われますが、その中でも人にとっていちばん大切なのは食べることですね。皆さんはどうですか？やはり食べる事が好きだし、楽しみですね。

それは日本に来てくれる海外の方々も全く同じです。美味しいものを日本に来て食べたいのです。その面では、多くの来日した海外の方々が、日本で食事をすると美味しいと言ってくれます。何よりも日本での食事は、日本食のみでなく、世界3大料理（フランス料理、トルコ料理、中国料理）を始め、どこの国の料理を食べても日本では当たり前が少なく、ますます「いい

《雑学事典 6》

◎世界一の木樽で、醤油を作る
 フンドーキン醤油樽で、容量 540kℓ で 300 年前の製法で 3 年かけて作る。
 ハイデルベルグ城内ワイン樽
 直径 7 m 長さ 8.5 m
 容量 222kℓ

う経験は無いと海外の方々には評価しにくれます。これは凄い事です。日本人がいかに海外に目を向け学ぶと共に、十分にその内容を消化吸収しているという事の証明です。加えて、日本独自の世界も併せて創造しているのです。そして、海外にも沢山の日本食のレストランが出来、多くの海外の方々が「美味しい！」と言って食べてくれていきます。そして海外のレストランでは、日本人のシェフが大活躍です。何と驚く事に海外の有名店でも日本人シェフを雇っている事が自慢になっているというのです。

そして日本食は世界の文化遺産になり、前述の如く、ミシュランの星をもらった店は、東京が世界でもいちばんなのです。何とも誇らしい事だと思いませんか？「日本人もヤルネエ」と。

それでは何故、日本食を海外の人々が評価してくれるのでしょうか？それは日本食は、美しい、美味しい、健康に良い、と三拍子揃っているからです。そしてそれに加えて、食事の場

《雑学事典 7》

◎日本料理の代表的な寿司は、「生もの」を食べる様々な雑菌のある物を用いる工夫の末できたもの
 カウンター：柿の木、経木：竹の葉、お茶：タンニン、ガリ：雑菌力が強い、ワサビ：最大の雑菌力、酢：除菌、殺菌、抗生

の一期一会のおもてなしの心があります。ひとりひとりのお客様に「良く来て下さいました。どうぞこの瞬間をお楽しみください。お伝えさせていただきます」という心が身に付いているのが日本人なのです。（最近疑問を持つ事もあります）。これは茶会で事前の準備を、お客様や、その時期を考え、真心を込めて周到に行い、お客様に何とも優雅でありながら、厳粛にお茶を振る舞って、その後主人がお客様をお見送りする時、その姿が見えなくなるまで家の前で見守っているように、本当にお客様を大切にしています。

加えて、日本人の舌は絶妙に味を感じる能力を持っています。それは味蕾細胞の数が多く（世界有数）、微妙な味を高感度に感じるので。その証拠に旨味という味の要素の1つを作り出

したのは日本人の祖先達です。鰹節、昆布等の成分を巧みに活用して、その味を出します。そして今日では「UMAMI（旨味）」という世界で通用する言葉にまでなっています。

また今日のラーメンでも、日本中のお店が独自のスープを造る為に激しい競争を繰り広げています。その努力には頭が下がります。更に、日本人は手先が器用なので、素材を大切に扱うと同時に、丁寧に調理をして、料理を美味しく盛り付けします。そうした事に加え、日本の国は高温多湿なので、微生物が繁殖し易いのです。（日本は昔から世界的に有名な学者は野口英世、北里柴三郎、高橋讓吉、鈴木權太郎、南方熊楠等々、皆細菌や微生物を研究した人々です）その為にいかに清潔にして、食中毒

を生ぜしめないかに注意を払ってききました。その結果として生ものを食べる事が出来る環境を形成しているし、多くの物（酒、納豆、

《雑学事典 8》

日本の米は、世界一美味しい
 「美味しいお米」の秘密は、日本の歴史、生活、知恵があってこそ

味噌、醤油、羊羹等々）が微生物を活用する醸造技術によって作られているのです。凄い事ですね。その結果が世界文化遺産とミシュランの星の数の多さ世界一の都市につながっているのです。いずれにしても、海外の人々にとって一般のレストランや食事処での食事、更には居酒屋での飲食と実に多様な店揃えがあるので、来日を食の面から楽しめるのです。それも大きな特徴です。この品揃えならぬ、店揃えというのも、海外の人々からは魅力的なのです。

「I-6」 ヤポニスム、絵画、陶芸家、かつ細工等への影響

次に日本の文化の海外への影響について見てみましょう。

江戸時代の前頃から沢山の外国の方がこられて日本の事を研究し、日本の素晴らしさを沢山見つけて、本国に知らせる努力をしました。皆さん良くご存知のギリシャ生まれのラフカディオ・ハーン（小泉八雲）は、日本一の庭園とも称される「足立美術館」が近くにあり、そろばんで有名な島根県浜

田市に住みついて、自ら日本の田舎で生活し、

そこで多くの事を学び、本や論文にし、本国へ送り日本を紹介しました。特に怪談とその文体で有名です。何

《雑学事典 9》

- ◎ミシュラン 3つ星獲得数ランキング (2019 年度版)
- 1 東京 (日本) ……13 店
- 2 パリ (フランス) ……10 店
- 3 京都 (日本) / サンフランシスコ (米国) …… 7 店
- ◎星獲得数ランキング (1つ、2つ3つ星)
- 1 東京 (日本) ……230 店
- 2 パリ (フランス) / 京都 (日本) ……104 店
- 3 大阪 (日本) ……99 店

《雑学事典 10》

世界を調べた民俗学者達は、人間は、民話・神話・宗教・哲学の順で、その認識を深めていくと考察しています。

よりも小泉八雲は日本人の心の動きと自然との関わりに関心を持ち、そこに棲みつく妖怪等に興味を深めたのでした。その小泉八雲は日本の事をこう表現しています。

「日本人の精神性の根幹には
祖神信仰がある」
——『日本 一つの解明』より
「自然災害の多発が変化を受け入れる国民性を形成した」
——『地震と国民性』より

そしてドイツのお医者さんであり、植物学者のシーボルトは、日本の豊かな植物を調べて、ヨーロッパに約400種類も送りました。その内の多くはヨーロッパに帰化植物として根付いていると共に、多くの芸術家に強い影響を与えました。

例えば、ガラス細工で有名な南フランスナンシー派のガレや、ドゥーム兄弟、ルネ・ラリック等への影響です。諏訪湖の湖畔にある北沢美術館には、そうした日本から植物や昆虫等を題材にした彼らの作品が沢山展示されています。(但し、常時ではありません。何故なら沢山の作品があるので、それ

でも見てもらう為に特別展として)

それを見ると、実に日本の植生の豊かさ、多様な美しさが彼らに大きな影響を与えた事を実感します。それらを魅せられきつと凄く創作意欲を掻き立てたのでしょう。

日本の哲学者の梅原猛氏は、日本文化の神髄を「山川草木悉皆成仏」と言う言葉で表現しました。日本は後で詳しく述べますが、豊かで変化に富む自然を持つ蓬萊島なので、そうした実感が育ったのでしよう。そしてその豊饒の地の豊かな、自然や風物を木目細やかな感性で捉え、それを文字化したリ、デザイン化したり、工作したのが日本文化なのです。そうした日本の自然と文化に影響されたフランス人のナンシー派の人々の作品を少しだけ示しておきます。



ガレ
『蜻蛉と花紋様香水瓶』